

茨消ウェイ

デジタル技術の急速な進展、価値観の多様化など、社会環境の変化するスピードが速い時代になっており、消防行政における課題もさらに複雑化・高度化しています。すべての消防職員が最大限に能力を発揮し、衆知を集めなければなりません。消防の任務を完遂し、社会からの要請や期待に応え続けるため、以下の行動規範を定めます。

1. 常にプロフェッショナル

常に高いレベルの責任感と使命感、倫理観を持ち、専門知識や技術を磨き続ける。日々の訓練や研究を惜しまず、卓越した専門性を目指そう。不安や心配事にもまっすぐ向き合っこそプロ。初心を忘れず、プロとしての自覚と行動を示そう。

2. 伸びしろは自分次第

挑戦なくして成長なし。挑戦は成功も失敗も成長の糧になり、自分の可能性や選択肢を広げてくれる。自分の能力を高めるためにどんな工夫をするか、何をめざすかは自分次第。成長の機会やスピードは人それぞれ違うから、他人と比べず昨日の自分を超えていこう。キャリアの節目には自分の歩みを振り返り、志のメンテナンスを。

3. 思いやりと感謝、エールを送ろう

自分がいつも正しいとは限らないし、知らないこともまだまだある。きっと誰かの下支えがあるから良い仕事ができるのだ。「ありがとう」を言う言われる関係を築き、謙虚に学び合う姿勢を持とう。周囲の人たちへ、心の底からの感謝とエールを自分から送ろう。

4. 説得より納得、共感、共創

自分のものさしだけで相手をジャッジせず、個性を尊重し認め合おう。相手を説得するのではなく、納得してもらうことが大事。説明する側と質問する側、教える側と教わる側、双方が責任を果たす。話をよく聴き、相手の価値観や思考を受け止めよう。共感・共創のアンテナをいつも高く。

5. いい消防士になろう

満面の笑顔で手を振ってくれる子どもたち。私たちが手を振り返したり、優しく声をかけると、その後約束を守ろうとしたりカッコよくいようと振る舞うのだそうです。たくさんの人の心に灯をともしため、一人ひとりがもっといい消防士になろう。職場でも同じ。全員が主役になって、みんなで風通しと日当たりの良い職場を作りましょう。